学校番号	408

令和８年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の美術１（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・デッサン・色彩など、美術における基礎基本を習得します。
・さまざまな表現方法を学び、見方・考え方を働かせ、絵画・彫刻・デザインなどの作品制作に取り組みます。
・高校の美術の授業を通して、見慣れたものに新たな発見や、価値を見付けたりすることができるでしょう。感じ取ったことや考えたことを豊かに表現していきましょう。

2　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】

対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表わしている。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	美術とは何か	【鑑賞】【絵画】 ・オリエンテーション 美術とは何か 美術Ⅰの学習内容について ・クロッキー	a:学習内容とクロッキーに理解を深めている。 b:造形的なよさや美しさを感じ取り、見方や考え方を深めている。 c:学習内容に関心を持ち、鑑賞の活動に主体的に取り組んでいる。	作品	ワークシート	活動の様子 ワークシート
	身近なものと手を描く	【絵画】 ・デッサンの基本 グラデーション 立方体・円筒形・球 ・鉛筆デッサン 身近なものと手を描く	a:形体・明暗・色彩・量感・質感などを捉え、鉛筆の特性を生かして表すことができる。 b:身近なものは何を描くか、手のポーズなどを考え構想を練り、創造的に表現できている。 c:デッサンの学習活動に粘り強く主体的に取り組んでいる。	作品	作品	制作の様子
	色彩構成	【デザイン】 ・色彩の基本 明度・彩度・色相 ・直線を使った構成 ・曲線を使った構成	a:構成について理解し、色彩の基本で学んだことやアクリルガッシュの特性を生かし、意図に応じて表している。 b:全体をイメージしながら構想を練り、調和のとれた統一感のある画面になっている。 c:デザインの学習活動に試行錯誤しながら取り組んでいる。	作品	作品	制作の様子 ワークシート
2学期	想像を形に	【絵画】【鑑賞】 ・アイデアスケッチ ・想像の世界を表す	a:構図や色彩などの効果、全体のイメージを捉え、アクリルガッシュの特性を生かし、意図に応じて表している。 b:想像したイメージを基に考え構想を練っている。 C:表現と鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	作品	アイデアスケッチ 作品	制作の様子 ワークシート

	生活を彩る模様	【デザイン】【版画】 ・アイデアスケッチ ・消しゴムはんこの制作 ・はんこに木の持ち手を付ける ・エコバッグとふきんに押す	a:自然物などの形や色彩の特徴や美しさ、構成などの効果、全体のイメージなどを捉え、材料や用具の特性を生かし、計画をもとに表している。彫りの技法と木工の基礎を習得している。 b:形や色彩などの効果を考え、模様の構想を練っている。 c:模様をデザインする学習活動と生活を豊かにするものづくりに主体的に取り組んでいる。	作品	アイデアスケッチ 作品	制作の様子 ワークシート
3学期	動物をつくろう	【彫刻】 ・塑像で表現する 粘土で動物をつくる	a:量感・重心・バランスなどを捉え、粘土の特性を生かして表すことができる。 b:感じ取ったイメージなどを基に、形や質感などの効果を考え、構想を練っている。 c:粘土で表す学習活動に主体的に取り組んでいる。	作品	作品	制作の様子 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度